



山王台だより7月号

令和2年 6月30日
横浜市立山王台小学校
〒235-0016
横浜市磯子区磯子5丁目2-1
TEL 045 (755) 1107

【学校教育目標】 自分よさに気付き、相手の気持ちを大切にしながら、ともに高め合って生きる

「校長先生のお仕事って何ですか？」

～1年生の学校探検より～

校長 志田 一彦

学校が再開されてから1か月が経ちました。最初の2週間は、クラスの人数を半分に分け、午前と午後の分散登校を行いました。学年によっては、ひとクラスが12人、13人というクラスもあり、普段とは違った雰囲気でのスタートとなりましたが、子どもたちは、久しぶりに友達と会えた喜びや一緒に勉強したり遊んだりできる楽しさを実感しているようでした。検温、マスクの着用、手洗い等、新しい生活様式を実践していく中での再開でしたが、子どもたちは大変落ち着いた態度で学校生活を過ごしていました。

3週目からは午前中のみの一斉登校となり、クラス全員がそろっての学校生活が始まりました。初日の朝、子どもたち全員を正門で迎えた時、改めて学校が再開できた喜びを感じました。

子どもたちが笑顔で登校する、正門で挨拶を交わす、教室で学び、校庭で遊び、友達と語ったり笑ったりする、そんな当たり前の風景がいかに貴重なことであるかということ、そして、それができることの幸せを実感しました。この当たり前の風景がこのままずっと続くことを願わずにはいられません。

さて、教育活動も少しずつ通常に戻りつつあります。

先日、1年生が学校探検で校長室を訪れました。子どもたちにとってはめったに入ることのない場所です。子どもたちは、校長室に飾られている写真や掲示物を眺めたり、教室とは全く違う様子に戸惑ったりしながらも、興味深いいろいろな質問をしてきました。

「なんで校長先生になろうと思ったんですか？」等、面接試験で聞かれるようなドキッとする質問もありました。

ある子が「校長先生のお仕事って何ですか？」と聞いてきました。思いもかけない質問に言葉に詰まり「そうだねー。たくさんあって、ひと言で言うのは難しいなあ。電話をしたり、いろいろな人と会ってお話をしたり、お手紙を書いたり、お手紙をチェックしたり……。」と答えた後、「でも、一番大事な仕事は、どうしたらみんなが安全に、楽しく学校に通えるかを考えることかな。」と答えました。

1年生は「ありがとうございました。」と元気よく挨拶をして校長室を出ていきました。「1年生、分かってくれたかなあ。」と思いつつ、ほっこりした気持ちで1年生を見送りました。

「校長先生のお仕事って、何ですか？」1年生が純粋に聞いてきた質問です。答えに詰まった自分に恥ずかしさを覚え、改めて自分の役割を意識しました。

子どもたちが安心して、楽しく学校に通うために自分は何ができるのか、子どもたちの期待に応えられるよう、決意を新たに1年生との時間になりました。

数日後、1年生からメッセージカードが届きました。「いつも がっこうを みまもってくれて ありがとうございます。べんきょう がんばります。こうちょうせんせいも がんばってください。」

また、心が温かくなりました。